令和８年第４回定例会　一般質問一覧表

受付順	一般質問提出議員氏名	質問事項	質問の要旨	答弁者
1	河内　克也	非常事態！ 農作物の野生鳥獣被害「有効な有害鳥獣対策」について PART３	今年、有害鳥獣の村内での捕獲数は過去最多となる勢いだ。個体数が増え、今まで農作物被害のなかった水田、畑、山林まで被害が広がり、村民の生活圏内でも猪・鹿の目撃情報が多く寄せられている。 野生鳥獣による被害は、農業者にとって経済的損失だけでなく、営農意欲の減退による耕作放棄、離農につながるなど、被害額以上の影響がある。現状は深刻であり非常事態だと考える。 ① 前回、令和６年度の村被害額は120万円との答弁であったが、算定方法は？次に猟友会・現場の声を代弁し、提案型の質問を行う。 ② 被害防止対策の柱　個体群管理・捕獲数の増加策としてくくり罠の普及と計画的（２回目）な箱罠設置研修の実施 ③ 猟銃免許所持者減少対策、高齢化する捕獲者負担軽減策として電気止めさし器購入の補助 ④ ジビエ利活用推進として、処理加工施設、供給、消費を行う段階での民間活用についてお聞きする。	村　長
2	橋本　功	有害鳥獣対策とジビエ加工会社の誘致について	イノシシやシカの増加による農作物への被害が深刻化している。 また道路への飛び出しによる交通事故は住民の生命、財産を守るうえでも重要な課題である。捕獲した鳥獣をジビエとして食用し、新たな地域産業につなげることも重要である。 そこで次の案について村長の考えを伺う。 ① 農地への侵入防止対策について ② 有害鳥獣の捕獲と実績について ③ ジビエ加工会社の誘致について ④ 加工施設の整備と支援について ⑤ 販路の確保と地域振興について	村　長

令和８年第４回定例会　一般質問一覧表

3	丸野　隆大	選挙における投票率維持・向上策について(再)	昨年６月議会にて「投票率の維持・向上の具体策」について一般質問を行い、「現在７ヵ所の投票所を増やすことは難しい。期日前投票の利用促進や乗合タクシーの有効活用などに取り組む。」との回答をいただいた。 改めて、具体的にどのような対応を取る考えなのか伺いたい。	選挙管理委員会 委員長
4	古澤　博之	令和８年４月からの学校給食費無償化に伴う非喫食児童生徒への公平な支援について	① 小、中学校給食費の完全無償化において、食物アレルギーや不登校等の長期欠席による非喫食児童生徒の現状（実態把握）と、現行要綱では支給の対象外となっている理由について伺いたい。 ② 公平性の観点から要綱を改正し、保護者が教育委員会へ直接申請することで、給食費相当額を支給する仕組みへ見直す考えがあるか問う。	教育長 村　長

令和８年第４回定例会　一般質問一覧表

5	山本　涼子	南外輪山宿泊施設誘致事業についての「村民が知りたい８つのシンプルな疑問」	以下の質問に端的にわかりやすい答弁を求める。 ① 売却予定金額ならびに地域への経済効果（費用対効果）について、具体的な数値の提示を求める。 ② 入会権者だけでなく、全村民への説明会を開催しない理由を問う。 ③ 広大な草原開発にあたり、環境アセスメント（環境影響評価）実施の有無と、実施していない場合はその理由を問う。 ④ プロポーザル審査の審査委員（公務員・外部有識者）の氏名や肩書きなどは、透明性確保の観点から情報開示がなされるのが一般的である。開示されない理由を問う。 ⑤ 村有地の有効活用として、土地が村に残る「事業用定期借地権（貸付）」ではなく、手放してしまう「売却」でなければならない理由を問う。 ⑥ 売却予定地には土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）が含まれている。開発の安全性と、万が一の災害発生時における村の法的・道義的責任について問う。 ⑦ プロポーザル審査前の段階で、後に選ばれる業者に対し村長が即座に温泉掘削を許可した経緯と、県への届出書類の写しに日付・受付印がなく、県の許可書も開示されない理由について、手続きの公平性と適法性を問う。 ⑧ 安全・危機管理および自然保全の観点から、現在の売却・開発計画を見直し、村有地の活用方法を転換する考えはないか問う。	村　長
6	工藤　眞巳	南阿蘇村農業みらい公社の事業運営と今後の農業振興について	① 農業みらい公社の業務運営委託と商品開発について ② 地域おこし協力隊の農業研修と有機肥料生産センターの利活用について	村　長